

令和6年8月26日

保護者の皆様

長万部町立長万部小学校長 附田 勇人

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、4月に第6学年を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。この度、文部科学省より7月に結果が公表されましたので、本校の概要についてお知らせいたします。

本校では、全員が「わかる喜び」、「できる楽しさ」を実感できる授業を目指し、各教科で授業の改善に取り組んでいます。自ら進んで学び、主体的に考える授業や学んだことを確実に定着させる授業等、児童全員が見通しをもって授業に臨めるよう指導、支援を重ねております。今年度は、自分の考えや思いを相手にわかりやすく表現することを取り入れた授業を各学年で推進しております。児童一人一人の資質・能力の向上に向けた指導法の改善を通して、よりよい授業の改善につなげ、一層の教育活動の充実に努めてまいります。

なお、第6学年には、個人の結果として個人票も併せて配付いたしますので、保護者の皆様は、そちらで詳細をご確認くださいませよう、お願いいたします。

お子様の学習や生活についてご不安、ご心配なことがございましたら、いつでも小学校(2-2514)までご連絡ください。今後も安全・安心・安定を基盤とした教育環境のもと、コミュニケーションを大切に、日々成長し続けている「一人一人の児童に寄り添った教育」を進め、お子様の健やかな成長を促してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 各教科の結果について

【国語】 本校の平均正答率 62.1% (全国比 91.7%)

分類		区分	全国比 (%)
学習指導要領 の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方	85.1
		(2) 情報の扱い方	115.1
		(3) 言語文化	92.8
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	100.8
		B 書くこと	89.9
		C 読むこと	85.3
評価の観点		知識・技能	92.7
		思考・判断・表現	91.8
問題形式		選択式	91.8
		短答式	86.9
		記述式	98.3

#### 全国比について

各区分における平均正答率を、全国を100として、本校の結果を比較したものです。

#### <正答率が高く、資質・能力の定着が見られた項目>

##### ◇ 「情報の扱い方」(知識及び技能)

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図による語句と語句との関係の表し方を理解し使う。

##### ◇ 「話すこと・聞くこと」(思考力、判断力、表現力等)

- ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。
- ・目的や意図に応じ、調べた内容を分類、関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。

#### <正答率が低く、今後対策していく項目>

##### ◆ 「言葉の特徴や使い方」(知識及び技能)

- ・ 話し言葉と書き言葉との違いに気付くことや漢字を文の中で正しく使う。
- ・ 文の中における 主語と述語との関係を捉える。

##### ◆ 「読むこと」(思考力、判断力、表現力等)

- ・ 登場人物の相互関係や心情、人物像について、 描写を基に具体的に想像したりする。

<課題が見られる問題>

3 (一) 本校正答率 46.2% 全国正答率 62.3% 全国比 -16.1 ポイント

【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する。

(観点) 文の中における主語と述語との関係を捉えることができる。

(正答) 3  
(誤答例) 4 または 2

- 1 もやが
- 2 そして
- 3 葉は
- 4 まぶしく

一 原さんは、「物語」の……について、かがやいているのは何だろうと考えています。次の……部「かがやいています」の主語として適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

3 葉は、かぞえきれないほどたくさんのお日さままでできているように、きらきら、きらきらと、まぶしくかがやいています。

1 もやが、ひかりの雲にかわり、2 そして、そのまんなかで、オニグモじいさんの

2 (三) ア 本校正答率 19.2% 全国正答率 43.4% 全国比 -24.2 ポイント

ア きょうぎの作戦を考えたりします。

(正答) 競技  
(誤答例) 協議、競枝

3 (二) 2 本校正答率 53.8% 全国正答率 72.5% 全国比 -18.7 ポイント

【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。

(観点)  
・人物像を具体的に想像することができる。

(正答) 1  
(誤答例) 2 または 4

- 1 登場人物の気持ちや考え方
- 2 作者が伝えていること
- 3 物語の構成
- 4 表現の効果

(2) 【話し合いの様子】で、原さんは「物語」を読んで考えたことを話しています。原さんは、物語の何に着目して話していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【話し合いの様子】

原さん 原さん 鳥さん 原さん 鳥さん 鳥さん 原さん 鳥さん 原さん

私は、オニグモじいさんがハエの女の子に、(1)を示しながら「わしみたいなクモが、生きるために食っているのはな」と言っていたところが心に残ったんだ。

なぜ、そこが心に残ったの。

この言葉にオニグモじいさんの迷いが表れていると思ったからなんだ。(2)を示しながら「大きな目をひらいて、いっしょうけんめいに」とあるようなハエの女の子のすなおな姿を見て、自分がハエの女の子を食べる存在であることを、どのように話すか迷っているのではないかな。

そうか。それで結局、オニグモじいさんは、(3)を示しながら「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」と言ったんだね。

そうだね。物語のいろいろなところを結び付けて考えると、心に残った理由がはっきりしてきたよ。鳥さんは、どこが心に残ったの。

私は、(4)を示しながら「きれいな虹がうかんで見えるだけ」という表現がいいなと思ったよ。もう一度物語を読んで、心に残ったところとその理由を考えてみよう。

二 原さんは、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をまとめるために、同じ物語を読んだ鳥さんと話し合うことにしました。次は、「話し合いの様子」です。これをよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましよう。

【算数】 本校の平均正答率 43% (全国比 68.8%)

分類	区分	全国比 (%)
学習指導要領の領域	A 数と計算	67.0
	B 図形	84.2
	C 変化と関係	69.4
	D データの活用	77.8
評価の観点	知識・技能	77.5
	思考・判断・表現	71.6
問題形式	選択式	78.6
	短答式	71.8
	記述式	77.3

<正答率が高く、資質・能力の定着が見られた項目>

- ◇ 「数と計算」「図形」「データの活用」  
(知識・技能)
- ・直方体の見取図について理解し、かく。
  - ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る。
  - ・数量の関係を、□を用いた式に表す

<正答率が低く、今後対策していく項目>

- ◆ 「数と計算」  
(知識・技能)
- ・わる数が小数のわり算において、わる数と商の大きさの関係について理解する。
  - ・わる数が小数のわり算の計算をする。
- ◆ 「図形」  
(思考・判断・表現)
- ・球の直径の長ささと立方体の一辺の長さの関係を捉え 立方体の体積の求め方を式に表す。
- ◆ 「変化と関係」  
(知識・技能)
- ・速さの意味について理解する。
  - ・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。
- ◆ 「変化と関係」  
(思考・判断・表現)
- ・折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する。
  - ・情報を基に表から 必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかを判断する。

<課題が見られる問題>

4 (1)	本校正答率 34.6% 全国結果 70.1% 全国比 -35.5%
-------	-----------------------------------

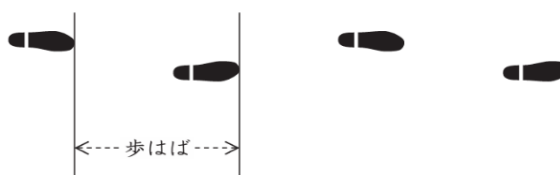
540 ÷ 0.6 を計算する

(観点) 除数が小数である場合  
の除法の計算をすることが  
できる。

(正答) 900  
※ 540 ÷ 0.6 = 900

(1) あいなさんは、家から学校までの歩数を求めます。

家から学校までの道のりは、540 m です。あいなさんの歩はばを 0.6 m とします。



家から学校までの歩数は、 $540 \div 0.6$  の式で求めることができます。  
 $540 \div 0.6$  を計算しましょう。

5 (3) 本校正答率 26.9% 全国結果 44.0% 全国比 -17.1%

折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く。

(観点) グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる。

(3) こうたさんは、1970年代から2010年代について、C市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970年代以降は、開花日の月が3月と4月のどちらかであることがわかりました。

そこで、開花日の月について、各年代の3月の回数と4月の回数を、下のよう折れ線グラフに表しました。

こうたさんたちは、左の折れ線グラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。



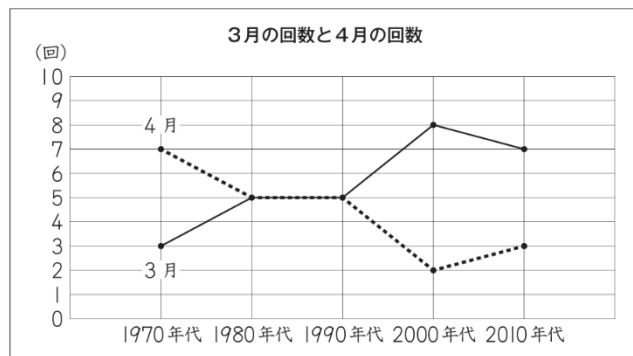
1970年代は、3月の回数より4月の回数のほうが4回多いですね。



3月の回数と4月の回数が同じ年代がありますね。



3月の回数と4月の回数のちがいが大きい年代がありますね。



左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

(正答例)

3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代は、2000年代で、2000年代の3月の回数と4月の回数のちがいは6回です。

## 今後の授業の改善、指導・支援について

国語では、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して表現する「書く力」の向上が見られます。

一方、物語の登場人物の心情や人物像などを具体的に想像する「読む力」に課題があります。

算数では、昨年度よりは改善傾向ではありますが、理由や求め方、答えを言葉や数、式を用いて記述することなど、「書く力」に課題が見られます。また、「計算のきまり」や「小数のわり算」、「体積」、「速さ」などの意味や求め方について問う問題でも正答率が低く、基礎・基本となる学習内容の未定着も明らかになりました。

自分の考えを適切に表現する場面、条件に応じて文章を要約する場面、学習したことを活用する場面など、基礎的な知識や技能の確実な定着とともに、児童自身が考えたり、表現したり、判断したりすることを大切に授業の推進を図っていきます。また、他人に向けて表現する機会を増やしたり、児童が学習の見通しを立てたり、学習内容を振り返ったりする活動を、日々の指導に取り入れていきます。

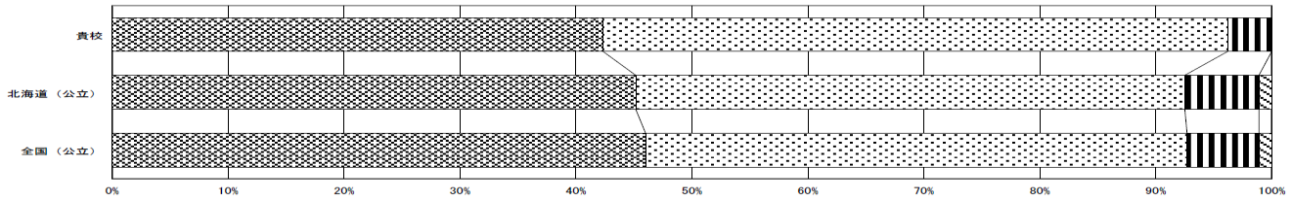
「わかる・できる・つかえる」をキーワードに、教員は、その授業において何を身に付けるのか、そのために何を学ぶのか、どのように学ぶのかなど、授業の目標を意識した授業づくりを確実に進めます。児童一人一人、何がわかったのか、何ができるようになったのかを実感できるようにします。

## 児童の学習・生活の様子について ～ 全国学力・学習状況調査「児童質問紙」より

全63項目の回答から、本校の児童の特徴的な項目についてお知らせいたします。

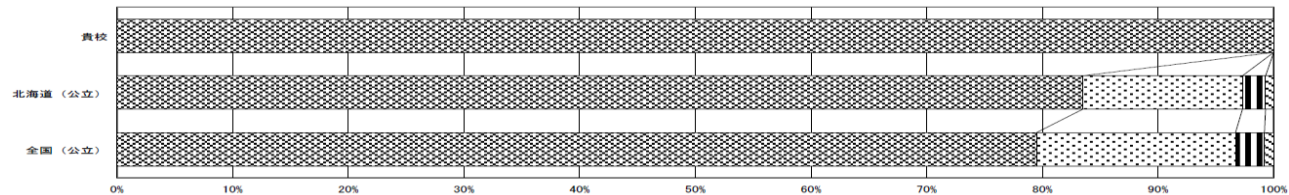
### <肯定的回答が全国平均を上回り、今後更なる伸長が期待できる項目>

- ◇「人が困っている時は、進んで助ける」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)  
 本校 96.1% 全国比+3.4ポイント (全国 92.7%)



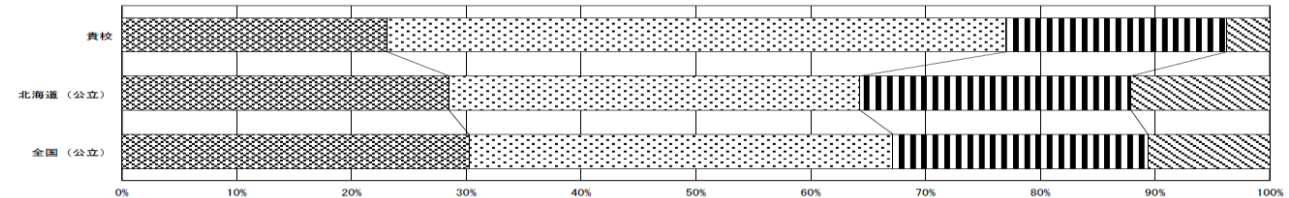
気づき、寄り添い、声を掛け合いながら、共に支え合う豊かな心をもつ児童がたくさんいます。

- ◇「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)  
 本校 100.0% 全国比+3.3ポイント (全国 96.7%)



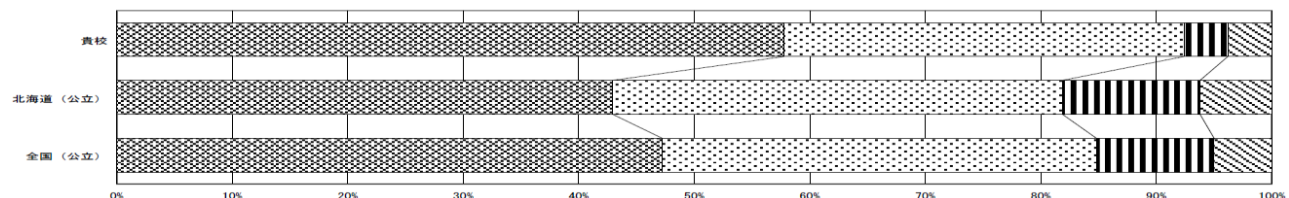
「いじめはいけない」100%の回答です。今後も継続し、全員が安心して生活できる学校にします。

- ◇「困りごとや不安がある時に、先生や大人にいつでも相談できる」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)  
 本校 76.9% 全国比+9.8ポイント (全国 67.1%)



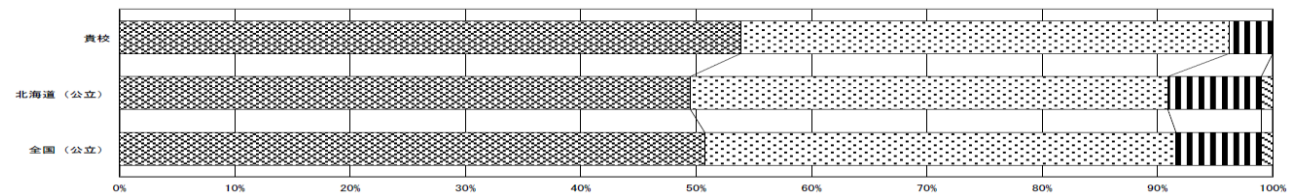
今後も児童の困り感や不安に対して、傾聴する姿勢を大切にして、指導・支援を継続していきます。

- ◇「学校に行くのが楽しい」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)  
 本校 92.3% 全国比+7.5ポイント (全国 84.8%)



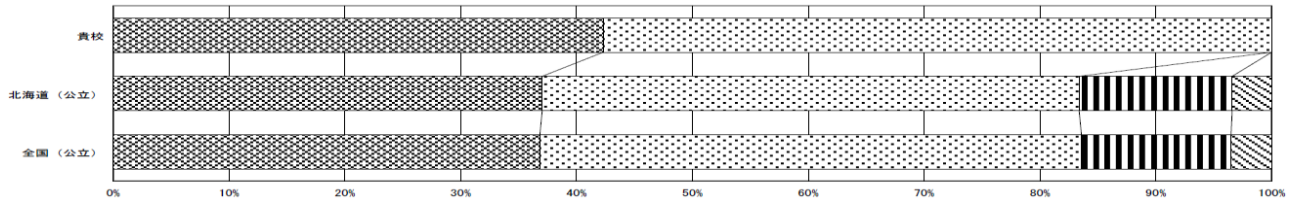
児童にとって行きたい学校、保護者・地域の皆様に応援していただける学校を目指します。

- ◇「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」 (よくある、ときどきある)  
 本校 96.1% 全国比+4.4ポイント (全国 91.7%)



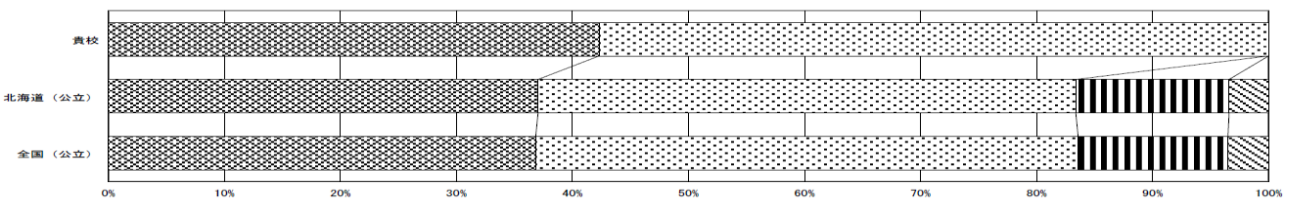
今後も安全・安心な環境で自己実現や自己受容、多様なつながりや協働する力を育成していきます。

- ◇ 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)  
 本校 100.0% 全国比 +16.5 ポイント (全国 83.5%)



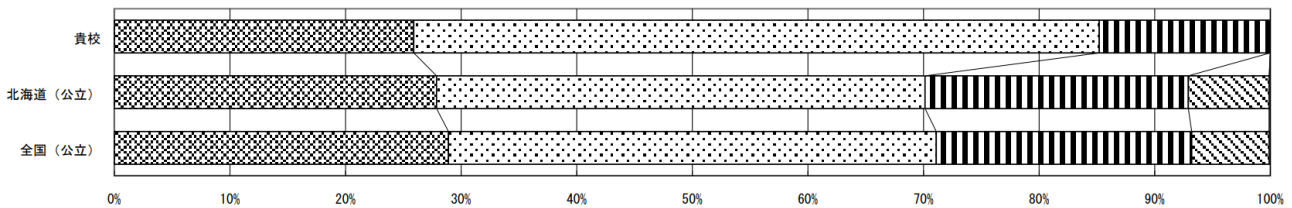
今後も主体的に社会に参画する態度の育成を図り、ふるさと長万部に愛着がもてるようにします。

- ◇ 「Chromebook を使うと、友達と考えを共有・比較しやすい」 (とてもそう思う、そう思う)  
 本校 100.0% 全国比 +13.9 ポイント (全国 86.1%)



今後も各教科等において自らの考えや集団の考えを広げ深める対話的な学びを実現していきます。

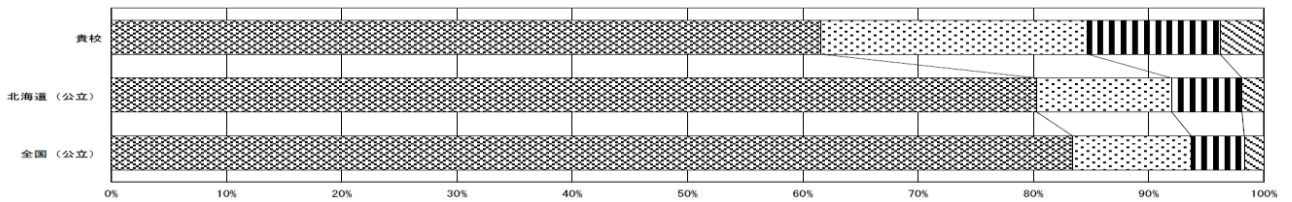
- ◇ 「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)  
 本校 88.5% 全国比 +7.7 ポイント (全国 80.8%)



日々の授業の中で習熟や定着を図る等の支援を継続し、学習した内容を活用できるようにします。

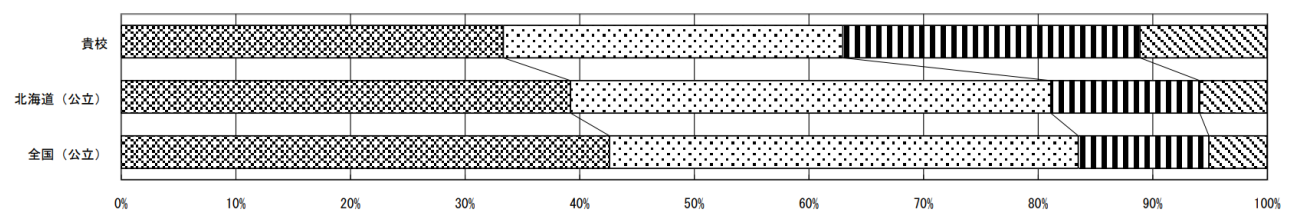
**<全国平均と比較して改善が必要な項目>**

- ◆ 「朝食を毎日食べている」 (している、どちらかといえばしている)  
 本校 84.6% 全国比 -9.1 ポイント (全国 93.7%)



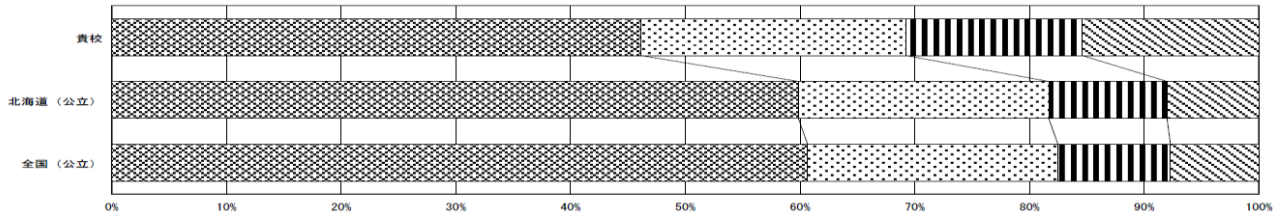
小学生は心と体が大きく成長する段階です。「早寝・早起き・朝ご飯」へのご理解とご協力をお願いします。

- ◆ 「自分には、よいところがある」 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)  
 本校 77.0% 全国比 -7.1 ポイント (全国 84.1%)



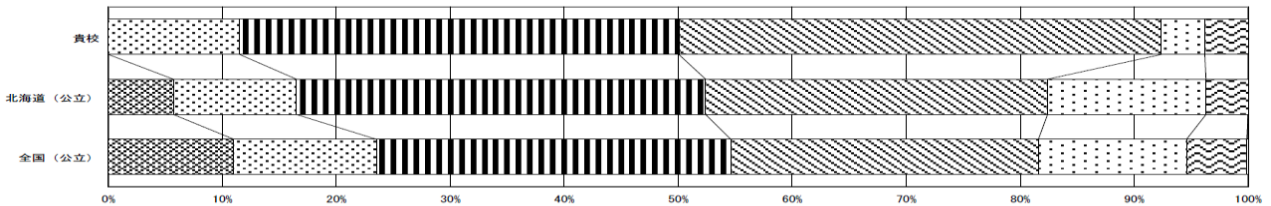
自己肯定感の低さが表れています。様々な活動を通して自分自身の価値を認識できる場を増やしていきます。

◆ **「将来の夢や目標を持っている」** (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)  
 本校 69.3% 全国比 -13.1 ポイント (全国 82.4%)



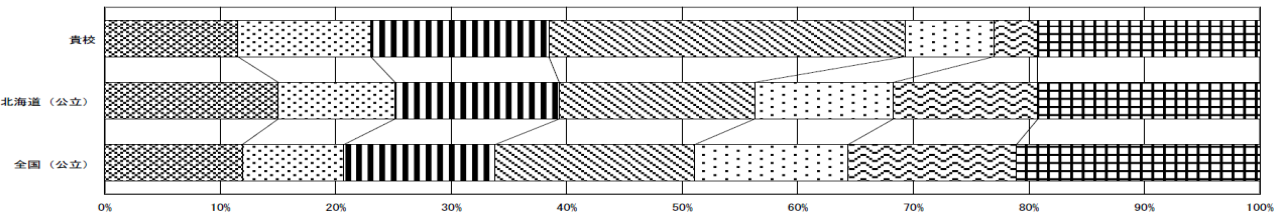
全ての生徒たちに夢をもつことの大切さを育む教育を、さらにその夢を実現できる力を身に付けさせる教育を目指します。

◆ **「平日1日当たりのゲームの時間」** ※ 本校、(全国)の割合の順で記載  
 4時間以上：27% (18%) 3時間以上：15% (13%) 2時間以上：23% (19%) 1時間以上：27% (25%)



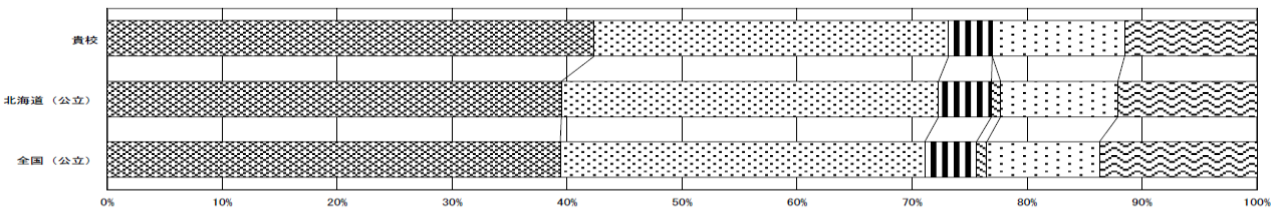
約65%の児童が平日2時間以上ゲームをしています。全国比15ポイントも高くなっています。

◆ **「平日1日当たりのスマホの使用時間」** ※ 本校、(全国)の割合の順で記載  
 4時間以上：12% (12%) 3時間以上：12% (9%) 2時間以上：15% (13%) 1時間以上：31% (17%)



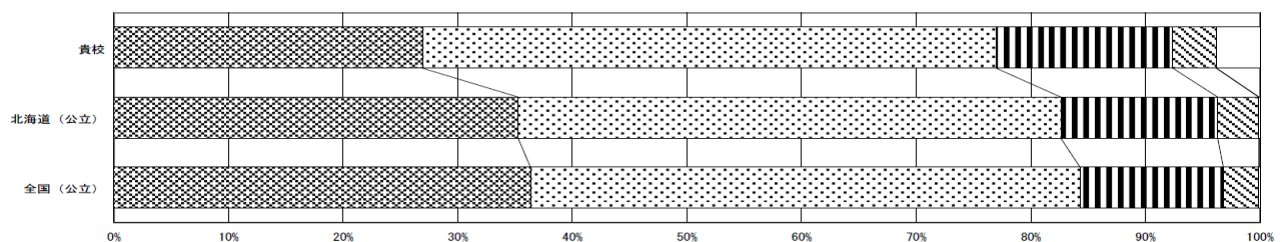
約70%の児童が平日1時間以上スマホを使用しています。全国比18ポイントも高くなっています。

◆ **「スマホやタブレット、パソコンの使い方について、家の人との約束を守っている」** (きちんと守っている、だいたい守っている) (き)  
 本校 73.1% 全国比 +2.0 ポイント (全国 71.1%)



全国との差はほぼありませんが、「約束をあまり守っていない」「約束がない」という児童が約15%。ご家庭でのルールづくりやルールの見直し等、お子様と十分話し合いを重ねることがトラブル防止につながります。

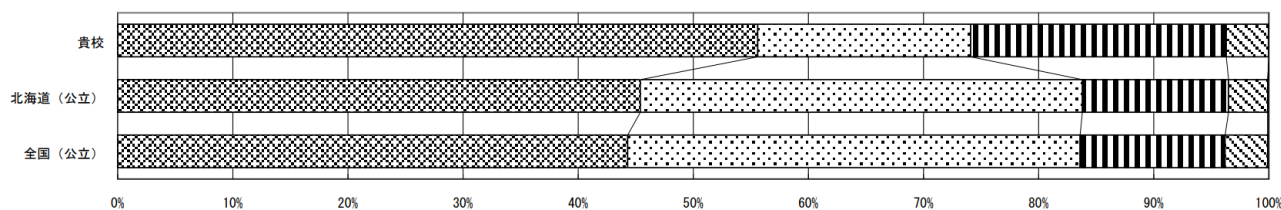
◆ **「学級生活をよりよくするために、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」**  
 (当てはまる、どちらかといえば当てはまる) 本校 76.9% 全国比 -7.3 ポイント (全国 84.2%)



「相手の立場に立って共感的に理解する」等の視点を大切にし、様々な意見のよさを生かして、学級全員が納得できるようにしていきます。

◆「国語で目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする等、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている」(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)

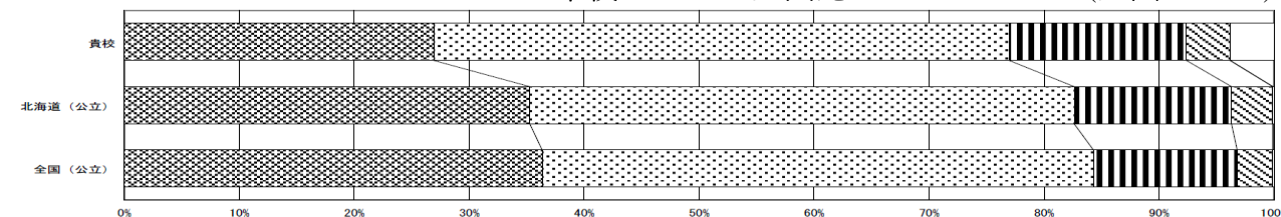
本校 76.9% 全国比 -6.3 ポイント (全国 83.2%)



書くことに苦手意識をもっている児童が多いです。自分の考えに説得力をもたせるために具体的な事実を入れる等、考えたことを相手にわかりやすく伝える方法について、国語をはじめ、各教科で取り組んでいきます。

◆「算数の授業の内容がよく分かる」(当てはまる)

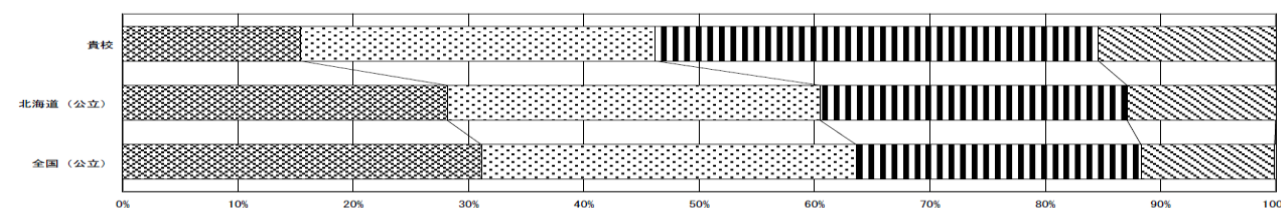
本校 26.9% 全国比 -18.0 ポイント (全国 44.9%)



授業における知識・技能、考え方の確実な習得を通して、「わかった!できた!」が実感できる授業にします。

◆「算数の問題が解けたとき、別の解き方で考えようとしている」(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)

本校 46.2% 全国比 -17.4 ポイント (全国 63.6%)



個人で様々な方法で考えたり、集団で様々な見方や考え方に触れたりできる授業の改善を図ります。

## 今後の本校の教育改善、指導・支援について

「自他のよさを活かし、意欲的に学び、社会を生き抜く力を育む」ことが渡島管内の教育推進の重点となっています。そのために、本校においても、以下について重点化して教育を改善していきます。

### 1 安心感と充実感を創り出す

〔学びの機会を保障し質を高める環境の確立〕

- ・共感的・協調的な人間関係の育成
- ・安全・安心な環境の確立
- ・毎日笑顔で通える安定した学級、学校の構築
- ・自分で考えたり、決めたり、やり遂げたりする場の充実
- ・自己肯定感を基盤とした主体性や創造力の育成

### 2 資質・能力を確実に身に付ける

〔子供一人一人の可能性を引き出し、確かな学力を育成する教育の推進〕

- ・わかる・できる授業への改善
- ・ICTを活用した協働的な学びの実現
- ・一人一人の子供に寄り添った指導・支援の充実
- ・学んだことを活用できる学習活動の充実